

# エコネット城南

2月号 (176号)

【行政広報】

城南衛生管理組合は宇治市・城陽市・八幡市・久御山町・宇治田原町・井手町が環境廃棄物行政を推進するための特別地方公共団体(一部事務組合)です。

編集発行 城南衛生管理組合 総務課

2015年(平成27年)2月3日/毎月第1火曜日発行

〒614-8511 京都府八幡市八幡沢1番地 TEL 075-631-0772 FAX 075-631-7296

HPアドレス <http://www.jyonaneikan.jp> eメール [info@jyonaneikan.jp](mailto:info@jyonaneikan.jp)

\*パソコンで「声のエコネット城南」(声の広報)を聴くことができます。詳しくは組合ホームページをご覧ください

## プラスチック製容器包装のリサイクルを進めるために

当組合管内3市3町では、さらなる循環型社会の推進のため、1月からプラスチック製容器包装(プラマーク)の分別収集がスタートしました。現在当組合には、皆様のご家庭から排出されたプラスチック製容器包装が徐々に運ばれてきています。



▲ごみを処理ラインに乗せての試運転。手作業で異物を取り除きます。

最終的に圧縮、梱包し、日本容器包装リサイクル協会に引き渡します▼



▲汚れたものも見られます

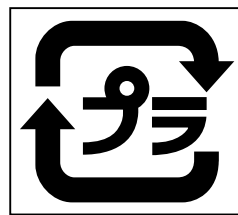
集まったプラスチック製容器包装

なぜリサイクルが必要なの?

まいます。

皆さんが1月から分別排出されたプラスチック製容器包装は、当組合の施設内で、まず、手作業により異物を取り除く選別作業を行っています。リサイクルにおいて、この作業は重要で、資源物に異物が混ざっていると、リサイクルに支障が出てしまいます。搬入されてきたプラスチック製容器包装の中身を見ても、適正なものに混ざって、プラスチック製容器包装の対象外のものや、汚れたものも見られています。家庭から出す分はわずかでも、管内3市3町の分が集まるとその量も多くなり、異物を取り除く作業も大変になってしま

まいます。私たちが普段出しているごみは、日本全体で見ると、東京ドームを約4日で見るといってしまいう量になります。その中でもプラスチック製容器包装は、家庭から出るごみの約4割(容積比)を占めています。これら全てを占めとして処理していると、焼却による二酸化炭素の量が増えたり、限りある埋立地の容量にも影響が出たりします。



プラマーク

目印はプラマーク

7割の自治体で、プラスチック製容器包装の分別収集が行われるようになり、当組合を構成する3市3町でも、循環型社会推進のため、今年からスタートしました。

このマークをつけるのは、プラスチック製容器包装を作る事業者の義務となっており、こうした事業者や、プラスチック製容器包装を使った商品販売する事業者には、再商品化義務が課せられていて、プラスチック製容器包装の製造量や利用量などにより、リサイクル費用を負擔しなければなりません。事業者が義務を課すことは、プラスチック製容器包装の製造を減らす動機づけにもなっていて、全国でリサイクルが広がるのと同時に、商品を含むフィルムやトレー類の薄肉化や、軽量化などが進んでいます。

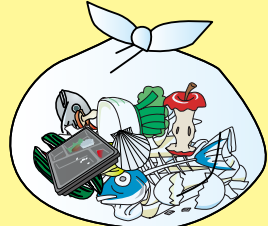
リサイクルを進めるためには、皆さんの分別のご協力が欠かせません。プラスチック製容器包装を出す際には、プラマークを目印にして、対象外のものや、汚れたものを混ぜないようにしてください。また、この1月からお住まいの市町ごとに、プラスチック製容器包装(プラマーク)の収集日が設定されていますので、今一度ご確認をお願いします。分別収集に関する詳しいお問い合わせは、各市町ごみ担当窓口までお願いします。

### プラスチック製容器包装を出す際には

汚れたものはため水などで軽く汚れを落とす



汚れの落ちないものは可燃ごみへ



※お住まいの市町の広報紙も併せてご確認ください

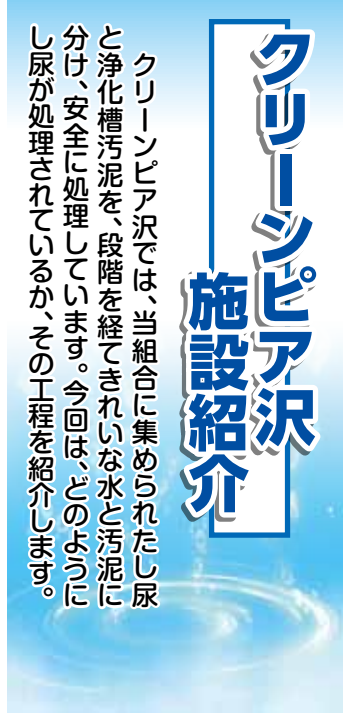
### チップ化物配布の延期について(家庭向け)

2月に予定しておりましたチップ化物配布(家庭向け)は、3月に延期となります。詳しい日程は3月号でお知らせします。

### 新施設が試運転を開始

当組合では、これまで長年にわたり不燃ごみを処理してきた奥山リユースセンターの老朽化に伴い、不燃ごみの処理とプラスチック製容器包装の資源化を行う新施設の建設を進めてきました。現在、施設は完成し、今年1月からは、皆様のご家庭から分別排出された不燃ごみやプラスチック製容器包装の処理を行いながら、各機器の調整を行っています。

今後、施設は調整及び性能検査を経て、3月に正式に当組合に引き渡される予定です。



### 前処理



当組合に運ばれてきたし尿は、計量機で重さを測った後、受入槽へ投入します。前処理では、し尿の中のごみを取り除く作業を行います。し尿の中の土砂や金属類は、沈砂洗浄装置へ引き抜き、洗浄後、埋め立て処理します。また、布切れやビニールなどのごみは、破砕機で破砕し、脱水し

### 生物処理

ごみが取り除かれた後は、し尿をきれいにしていく工程に入ります。し尿は微生物で処理しますが、まず、計量調整槽で、微生物が処理しやすいように水で薄め、脱窒素槽に送ります。この槽で、空気を嫌う微生物により処理した後、次の硝化槽で、空気を好む微生物の働きを使い、し尿を分解します。

その後、焼却します。

### 高度処理

上澄水は、さらにきれいな水にするため、私たちの目には見えない小さな汚れも取り除く、高度処理施設に送られます。ここで、これまでの処理で取れなかった物質を、薬品によって凝集・沈殿させ、除去します。その後、仕上げにオゾンの強力な酸化力で、色や汚れとあわせて臭気も取り除きます。最後に、砂を入れたタンク・活性炭を入れたタンクに通してきれいな水になります。

### 段階を経てきれいな水へ



放流水 ← 生物処理後

## 大阪湾広域臨海環境整備センターへの搬入停止措置の解除について

大阪湾広域臨海環境整備センターへの搬入が停止されておりましたクリーン21長谷山のばいじん処理物については、12月22日付で同措置が解除されました。改めて、多大なご心配をおかけしたことについて、お詫びいたします。

◆基準値超過の原因  
経年堆積により、バグフィルターのろ布表面に付着固定したばいじんが、ダイオキシン類を高濃度に吸着しており、炉の上立時の温度変化、通ガス等の影響等で、そのばいじんが大量に落下したことが原因と考えられます。

◆再発防止策  
①ろ布へのばいじんの付着状況の指標となる差圧の管理を厳密に行い、圧縮空気によるばいじんの払い落としを適切に行い、ばいじんのろ布への固着を防止します。  
②点検時に、ばいじんのろ布への固着状況を点検し、必要に応じて除去等を行います。  
③これまで年1回実施していたダイオキシン類の分析を、ばいじん処理物、燃え殻について年4回実施し、ろ布の付着灰についても分析します。

④多量の灰が落下し、ホッパレベル上限警報が発報した場合、通常、集じん灰貯留槽に流れている搬送装置を遮断し、落下したばいじんが非常用経路に流れるよう自動で搬送経路を切り替える機能を有する振分装置を設置し、落下したばいじんが搬出されることを防止します。

さらに、法令順守の徹底に向けた職員への教育・指導、意識改革等を徹底し、基準値超過時の具体的な対応を定めた「基準値超過時の対応指針(ばいじん、燃え殻中のダイオキシン類)」を作成して全職員への徹底に取り組んでおります。

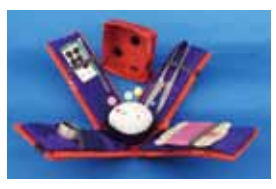
## ゆめりあ うじで開催します

2月27日(金)

★ガラス教室  
「こいのぼり」電気炉  
時間：10時～12時  
13時～15時  
参加料：900円  
定員：各5人



★衣服教室  
「小さなお裁縫箱」  
\*高さ約12cm、幅約6cm  
時間：10時～15時  
参加料：500円  
定員：5人  
\*昼食をご用意ください



申し込みはエコ・ポート長谷山 (☎ 0774-56-5556) へ  
\* 2月3日(火) 8時30分から受付(水曜日・木曜日は休館)

搬入されたし尿は3日半かけて、こうして安全な処理水にして宇治川に放流し、やがて飲み水となります。日々、工場内の機器の点検や水質検査を行いながら、安心安全な水処理を行うことがクリーンピア沢の役割です。



▲中央監視室では、工場内の機器の運転状況を確認します

## エコ・ポート長谷山 工房・教室のご案内

申し込み・問い合わせ先 エコ・ポート長谷山 ☎ 0774 (56) 5556

工房・教室のお申し込みは、2月3日(火) 8時30分から電話で先着順にて受付 (休館日：毎週水曜日・木曜日)

### エコ・ポート長谷山で開催

○=工房開催日

	ガラス	衣服	自転車
7日(土)	○	○	○
8日(日)	○	-	○
13日(金)	○	○	-
14日(土)	-	○	○
15日(日)	○	○	○
21日(土)	○(PM)	-	-
22日(日)	○	○	-
28日(土)	○	○	○
3月1日(日)	○	○	○

2月8日(日)  
★衣服教室「おひなさま」  
\*高さ約30cm、幅約45cm  
時間：10時～15時  
参加料：1,000円  
定員：5人  
\*飾り紐(帯締め)は別売り100円  
\*昼食をご用意ください



2月14日(土)  
★ガラス教室「明かりのおひなさま」  
時間：10時～12時  
13時～15時  
参加料：500円  
定員：各4人



2月9日(月)・23日(月)  
★着物リフォーム教室(着物から鞆へ)  
時間：13時～16時  
参加料：300円 \*着物地は各自で  
定員：各日10人 \*ご用意ください



### 折居清掃工場で開催

●リサイクル衣服の提供 時間：10時～16時 洋服100円、着物100円～500円  
●自転車の組立(防犯登録つき)時間：10時～12時・13時～15時/参加料：1,500円～  
2月21日(土)  
★衣服教室  
「しずく結びのネックレス」  
時間：10時～12時  
13時～15時  
参加料：1,000円  
定員：各5人  
★ガラス教室「かぶと」  
時間：10時～12時  
13時～15時  
参加料：900円  
定員：各5人



2月21日(土)・22日(日)  
2月22日(日)  
★衣服教室「干支のタペストリー」戌(大・小)  
\*大：縦約10cm、横約10cm  
\*小：縦約5cm、横約6cm  
時間：10時～15時  
参加料：500円 定員：10人(台は別売り500円)  
\*昼食をご用意ください



★ガラス教室 ステンド「鏡」  
時間：10時～15時  
参加料：700円  
定員：5人  
\*昼食をご用意ください



引き取り 電話で随時受付  
締め切りは 2月16日(月)  
\*再利用できるものに限ります  
●自転車の訪問引き取り 2月23日(月)  
●着物・衣服の訪問引き取り 2月23日(月)